

令和4年度職員提案（計15提案）

受付番号	提案書名	提案件名	判定結果	ページ
1	一般提案	各課候補者奨励制度の提案	研究課題	3～
2	一般提案	デスクネットスケジュール機能の全庁的な活用について	実施	5～
3	改善報告	コンサルティング経費をかけずにマーケティング（サウンディング）調査の実施	優良	7
4	改善報告	IT企業誘致における訴求効果向上や地元人材確保の観点から地元及び近隣学校とのネットワークを構築しました。（県内初）	優秀	8
5	改善報告	県内初の電子商品券の取組	優良	9
6	課題提案	アルコール消毒液の備蓄方法について	実施検討	10
7	改善報告	新型コロナワクチン接種券の発送	優秀	11
8	改善報告	敬老祝金支給事務の改善	通常	12
13	一般提案	手続ガイドラインへの庁舎レイアウト掲載	研究課題	13
14	一般提案	人流コントロールのための効果的な担当係の表示	研究課題	14～
15	一般提案	公園遊具寄附事業	担当課にて実施済み	16
16	改善報告	市営住宅収入申告書の対面提出から郵送提出への切り替えについて	通常	17
17	一般提案	高額物品購入に関する指名競争入札参加者選定範囲の拡大	現行制度内にて対応済	18～
18	一般提案	ナンバー・リクエストの導入（非通知迷惑電話の排除）	研究課題	20～
19	一般提案	チューター制度の導入について	実施検討	22～

※受付番号9～12については、欠番。

【参考】判定結果区分

※鳥栖市職員提案に関する規程より抜粋

別表第4

一般提案及び特定提案の判定区分

判定区分	基 準
実 施	提案の内容を実施することが適当なもの
実施検討	実施に向けた検討を行うことが適当なもの
研究課題	課題解決に向け、更なる研究を行うことが適当なもの
保 留	提案の内容の再検討が必要なもの
実施困難	提案の内容を実施することが困難なもの
実施不適	提案の内容が不適当なもの

別表第5

課題提案の判定区分

判定区分	基 準
実 施	課題の解決に向け取り組むことが適当なもの
実施検討	課題の解決に向けた検討を行うことが適当なもの
実施困難	課題の内容に取り組むことが困難なもの
実施不適	課題の内容が不適当なもの

別表第6

改善報告の判定区分

判定区分	基 準
優 秀	公益上の効果が認められ、全庁的に実施すべき内容であるもの
優 良	公益上の効果が認められるもの
佳 作	一定の効果は認められるが、更なる検討が必要なもの
通 常	通常業務の一環と認められるもの

受付番号 1 一般提案
【各課候補者奨励制度の提案】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
現状及び問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員の業務に対する姿勢(やりがい)がわからない ・他者から褒められる機会の減少 ・他の課での業務内容がわからない ・市長と若手職員のコミュニケーション不足
提案内容	<p>各課に優秀な人材がいるにもかかわらず、その人の貢献した内容が他の職員や市民にわからない。そのため、年度末に各課の管理職未満にて協議し、今年度特に業務に邁進した人を推薦。候補者は取り組んだ内容を A4 1 枚にまとめ、市長へ提出。市長が資料精査後、数名選出。候補者は後日、市長等にプレゼン。最優秀者を選出し、取り組んだ功績を市報に掲載する。候補者の取り組み内容も desknets のインフォメーションにも掲載する。奨励金の報酬もあり。</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対するやりがいの発見（自分の存在意義、役割の再認識） ・他の課での取り組みや邁進している職員を知ることができる ・市長とのコミュニケーション機会・プレゼンスキルアップ
実施上の課題	<p>制度の形骸化(だれでもいいじゃんという雰囲気) 特定の一人に集中すること 候補者の選定方法(評価のやり方、業務内容の考慮)</p>

○提案に対する意見等

- ・奨励金を公費で出すのは難しいと考える。
- ・制度が形骸化しない工夫が必要。
- ・推薦される当人の負担増とならないようにしてもらいたい。
- ・性善説にたつと良い部分もあるが半面職員の意欲をそぐことにつながらない工夫が必要。
- ・職員（特に若手）のモチベーションアップを期待した提案と思われ、適正な評価（不満解消？）を期待する意図は理解する。
- ・本来、努力、成果に応じた評価は上司がきちんと行うべき。
- ・総務課意見にあるように、「改善報告」及び「職員提案改善事例集（報告会）」で対応可能と考える。
- ・報酬については、業務における対価として給与が支払われており、過去に廃止の経緯もあり慎重に対応すべき。
- ・功績に対する報酬については、工夫が必要。
- ・実施上の課題にあるように、誰がどのように評価選定するのかルールを確立する必要がある。
- ・同一業務であれば定量的な成果で判断も可能かと思うが、多様な業務の場合では業務邁進の度合いを何をもって判断するのか。
- ・やる気のある一部職員に限定され、若手全体の向上心の底上げに繋がるかは疑問が残る。
- ・仕事に対する貢献度は、本来、人事評価で行うものではないか。
- ・業務に邁進した人を推薦するにあたっては、統一した基準が必要。
- ・市報は「市民へのお知らせ」が掲載の趣旨で、職員表彰の掲載については疑問である。
- ・奨励金については、議会や市民の理解が得られるのか、報酬ではなく別の方法を検討すべきである。

○判定結果

【結果】 研究課題

【理由】

職員の勤労意欲向上や意識改革につながる提案である。また、関係課意見にあるとおり、報酬等も奨励金の代わりとして希望研修の受講機会創出等で代替可能と思われる。ただ、実施上でのルール策定や職員への効果が限定的な点に対する対応策、人事評価との棲み分け等、各課題への更なる研究が必要である。

受付番号 2 一般提案

【デスクネッツスケジュール機能の全庁的な活用について】

○提案内容等

提案要件	<p>■事務能率の向上 □経費節減又は収入増加 □市民サービスの向上 □その他公益上有益であるもの</p>
現状及び問題点	<p>部や課を超える日程調整や課内での各職員の業務共有の際に、各課・個人が独自でスケジュール管理を行っていることも多く、調整や確認に手間取ることがある。</p>
提案内容	<p>デスクネッツに実装されているスケジュール機能を全庁的に活用し、全職員でのスケジュール共有を行う。</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 既の実装された機能のため、追加投資の必要がなく導入可能。 ● システム上、自分以外のスケジュールについても入力可能であるため、日程調整等の仮押さえが可能。 ● 各職員の予定や行事等を組織全体で共有することで、個別での予定確認等が不要になり、時間効率が上がる。また、予定の相互チェックを行うことができるため、進捗管理等を課内だけでなく、全庁的に共有できる。
実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 全職員による現状の管理方法からの移行・追加が必要となる。 ● 全庁的な取組みとなるため、大枠の運用指針や周知徹底が必要と思われる。

○提案に対する意見等

- ・スケジュールの二重管理が課題。スマホのスケジュールと共有できると効果を更に発揮するのではないか。
- ・なぜ、システムの活用につながっていないのかなど具体的な検証があればさらに良い。
- ・提案にあるように実装機能であり、本来活用すべきツールが活用されていない。
- ・部課長出席の会議日程調整が大変な現状もあることから、まずは全部課長が率先して入力する必要あり（できる）。
- ・そもそもの庁内イントラの利便機能のひとつであるので、運用方法を決めれば実施できると考える。
- ・無用にスケジュールを見られたくない職員は、共有スケジュールに記載せずに個人スケジュールで管理するのではないかと考える。
- ・全職員を対象とした方がいいのか疑問が残る。
- ・担当職員が、日程調整ためスケジュール確認を行うために来ていることを考えると、全庁的な活用を行ったほうが良いと思います。
- ・全庁的なスケジュールを管理することは、業務上、効果的と考えるが、実施に当たっては、運用方法を定めたマニュアル等が必要と考えられる。

○判定結果

【結果】実施

【理由】

情報の共有化や有効活用につながる提案であり、実装されているシステムで導入可能のため、運用方法を確立すれば対応できるものである。

スケジュールの二重管理への対応や対象職員の範囲等に課題は残るため、現時点での活用実績の確認やスマホとの連携可否等、具体的な検証は必要だが、試行的に実施可能な範囲から着手できるものとする。

受付番号 3 改善報告

【コンサルティング経費をかけずにマーケティング（サウンディング）調査の実施】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
改善内容	サウンディング調査として、勤労福祉会館跡地について、コンサルティング経費をかけずにマーケティング（サウンディング）調査を本市で初めて実施。 実際に 4 社から参加申込みがあり、利活用に必要な条件や想定される事業内容の聞き取りを通じて、市場ニーズを調査することができ、具体的な土地活用の検討ができた。

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none">・多額の費用をかけずに市場の意向を確認できる良い方法と考える。どれだけ広く周知できるかが課題。・他の業務にも活用が図られると考えられる。・行政の独りよがりな事業実施とならない方策として効果あり。・今後は、さらなる周知に努め、広く提案を募る方策を検討することも必要。・事業検討の早い段階から民間事業者の意見や提案を受けることにより、事業成立の可否の判断や市場性の有無やアイデアを取り入れることができることから、民間事業者との連携が見込める事業には有効な調査である。・今後も、マーケティング調査が必要となった場合も自前で行うことが可能か。
--

○判定結果

【結果】優良
【理由】 多額の費用をかけずに市場の意向を確認でき、行政コストの削減につながっている。また、他部課への活用も図られるものであり、更なる広がりが見込まれる。

受付番号 4 改善報告

【IT 企業誘致における訴求効果向上や地元人材確保の観点から地元及び近隣学校とのネットワークを構築しました。(県内初)】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
改善内容	<p>本年 3 月に奨励制度を改正し、IT 企業誘致を図ったところ市政施行以降 1 社の進出であったものが 3 月以降だけで 3 者の IT 企業の進出があった。</p> <p>一方で IT 企業が欲する人材が鳥栖市で確保できる土壌が乏しいという指摘があったことから、誘致における訴求効果向上や地元人材確保の観点から地元及び近隣学校とのネットワークを構築することとし、10 月時点で鳥栖商業高校、久留米工業高等専門学校など 6 校と連携協定を締結し、既に誘致企業に置いて鳥栖商業高校から 3 名の来春の内定を獲得することができました。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖商業高校・麻生情報ビジネス専門学校・専門学校コンピュータ教育学院 他系列 1 校 ・福岡情報 IT クリエイター専門学校・久留米工業高等専門学校

○提案に対する意見等

- ・高校等との連携協定は他の業務における人材確保にも生かすことが出来る
- ・ネットワークの維持・拡大に期待したい。
- ・人材育成の観点からも異業種との協力を得られている。
- ・本市らしい、地の利を活かした人材確保という優位性を以った企業立地に繋がる取り組みである。
- ・物流、製造だけでなく、新たな産業、業種を誘致することで、産業基盤をより強固なものにできる。
- ・学生に鳥栖で働くことの魅力を感じさせることができる取り組み。
- ・課題把握から改善までが迅速。
- ・誘致企業及び人材確保の両方の視点から有効である。

○判定結果

【結果】 優秀

【理由】

本市における強みを活かした企業と人の両サイドに有効なものであり、本市の更なるイメージアップにつながるものである。また、実績も増加しており、改善の効果が即座に現れている。

受付番号 5 改善報告
【県内初の電子商品券の取組】

○提案内容等

提案要件	<p>■事務能率の向上 □経費節減又は収入増加 ■市民サービスの向上 ■その他公益上有益であるもの</p>
改善内容	<p>コロナ禍@における経済対策として、県内で初めて、プレミアム付商品券の電子化に取り組んだ。 主な改善効果は、次のとおり。</p> <p>○“3密”の回避 ⇒購入に当たって、クレジットカード払の場合は、購入場所を必要としない。 ⇒店舗との代金の支払いに当たって、接触がない。</p> <p>○取扱店舗の負担軽減 ⇒換金に当たって、商品券の金融機関への持込が不要</p> <p>○キャッシュレス化の推進</p> <p>○商品券の印刷製本費など事務費の軽減</p>

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・時代の流れを的確に把握して実施されている。 ・コロナ禍、電子化など時流に沿った取り組みである。 ・完売が物語るように、市民にも好評であった。 ・他市や庁内でも参考にできる取り組み。 ・キャッシュレス化の推進及び利用者、取扱店からも好評である。 ・全年齢層に平等なサービス提供ができたのか、検証すべきであると考える。 ・完売しているので効果は表れている。

○判定結果

【結果】優良
<p>【理由】</p> <p>コロナ禍、電子化など時流に沿った取り組みであるとともに、完売という結果が示す通り、市民ニーズに応えた取組みである。</p>

受付番号 6 課題提案

【アルコール消毒液の備蓄方法について】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
課題内容	<p>アルコール消毒液（ウエルパス）は、新型コロナウイルス感染症のまん延で、品薄となり備蓄もなかったことから、R2年度に急遽購入予算がつき、購入した。</p> <p>大量に購入したものの使用期限が3年間で、消防法上、1つの建物内での保管は80ℓ未満と定められているため、使用期限が切れないように計画的に使用する必要があった。</p> <p>80ℓを超える分は、部内の各部署に分散保管を依頼し、新たに購入したものと入れ替えながら使用する（ローリングストック法）など、使用期限が来て廃棄しないように協力してもらった（当時同じ部だった文化会館、サンメッセ、スタジアムなど。現在は、同じ部である保育所など）が、そもそも使用量を把握し、適正な備蓄量はどのくらいか？（年間使用量の3倍が備蓄可能量）、どこでどれだけ分散保管するか（1か所80ℓまで）、計画的な使用をする方法（古いものから使用する）などを全庁的に考えることで今後の感染症に備えられると考えることから、各部の現状とアイデアを募りたい。</p>

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・今回は問題提起となっているが、各課各部の情報の一元管理の方法等についての問題意識は持たれている。より具体的な方法を期待したい。 ・（事務局へ）本件は「課題提案」であり、他の案件と違い、提案課は「各部の現状とアイデアを募りたい」としており、どのように審査（判定）するのか。 ・全庁的に購入するもので他にも似たような物品はないのか。 ・窓口が多い課の意見（使用実態等）を参考に、全庁的な協議を進める必要があるのではないかと思われる。 ・全体分を一括管理することも検討すべきではないか。

○判定結果

<p>【結果】実施検討</p>
<p>【理由】</p> <p>横断的な問題意識を持つ着眼点を評価できるとともに、行政コスト節減につながる課題提示である。今回の提案を機に、現状の各施設所管課での対応方法が確認できるため、課題解決に向けて、管理を行う担当部署や具体的な管理運用方法を検討すべきである。</p>

受付番号 7 改善報告
【新型コロナワクチン接種券の発送】

○提案内容等

提案要件	<input checked="" type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
改善内容	<p>新型コロナワクチン 4 回目接種については、当初、接種対象者が限定されたため、対象者からの申し出により接種券を発送する方法などが国から例示されていた。</p> <p>対象者への周知への課題、申請に係る市民の負担、申請から郵送までに時間を要すること、対象者の拡大が検討されていたことなどから、速やかな接種に繋げるために 3 回目を接種したすべての人に対象者を明示した上で接種券を郵送する方法で対応した。</p> <p>結果として、間違った対象者が接種することもなく、市民は申請の手間もなく接種ができた。また、対象者の拡大についても新たに接種券を送付することなく、スムーズに接種ができ、事務の効率化・経費の削減につながった。</p>

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでにないことへの対応ができている。また、プッシュ型の対応により市民の混乱を招くことなく事業を実施できている。 ・ 感染や重症化、早期接種に対する市民の不安解消、刻々と変わる国の対応を見越し、遅滞なく確実な接種に繋げたい職員の意図の両方を備えた対応であった。 ・ 県内でも早く対象者への接種券配布につながった。 ・ スムーズな接種と市民負担の軽減につながった取組である。 ・ 改善策は事務の効率化、経費の削減につながっている。

○判定結果

<p>【結果】 優秀</p>
<p>【理由】</p> <p>未曾有の事態に対し、職員一丸となって迅速かつ確実な対応を行ったことで、大きな混乱を招くことなくスムーズなワクチン接種につながったことで、市民の負担軽減に寄与した取組みである。</p>

受付番号 8 改善報告
【敬老祝金支給事務の改善】

○提案内容等

提案要件	<input checked="" type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
改善内容	現金手渡しから口座振り込みに変更 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現金取り扱い時の紛失や盗難等のリスクがなくなった。 ・ 各まちづくり推進センターで手渡しをする事務がなくなった。 ・ 接触機会を減らすことで新型コロナ感染対策となった。 ・ 対象者が交付場所に向く必要がなくなった。

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の改善とあわせて日ごろの業務の見直しにつながることを期待する。 ・ コロナ禍、電子化など時流に沿った取り組みである。 ・ 現金支給を望む声の有無。 ・ 事務軽減と市民サービスの向上につながっている。 ・ 改善策は事務の効率化、経費の削減につながっている。
--

○判定結果

【結果】 通常
【理由】 職員の労務軽減と市民サービスの向上に寄与した改善策であり、日ごろの業務改善につながるものである。

受付番号 13 一般提案

【手続きガイドラインへの庁舎レイアウト掲載】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
現状及び問題点	<p>・例えば、出生届を提出した場合、児童手当（こども育成課）や記念樹（都市計画課）の手続きがあるが、担当課の位置の把握ができず（特に都市計画課は市民課と同じフロアにない）に困っているケースが多々見られる。</p>
提案内容	<p>・市民課手続きした住民に配布するガイドラインに庁舎レイアウトを掲載する。</p> <p>・庁舎レイアウトは、手続きに必要な担当課が色づく仕様にする。</p>
期待される効果	<p>・職員の案内なしに住民が自ら担当課へ行くことができる。</p>
実施上の課題	<p>・なし</p>

○提案に対する意見等

	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎における窓口体系との整理が必要であると考えます。 ・市民の視点からの提案で的確である。他の業務結婚出産おくやみなど具体的な検証があればより良い。 ・システム改修までしなくても、庁舎建設課意見にあるように、別途庁舎案内図（ガイドライン表示業務・窓口を図示）で市民課職員が窓口を案内することで対応可では。 ・レイアウト掲載のみでは不親切では？ ・「全ての来庁者が迷わず担当部署の把握ができるような行政運営が求められる（市民課）」とあり、既に市民課職員が説明しているのでは？ ・基幹系システムの改修を伴わない形でのサービス向上が図れないか検討が必要。 ・市民課で、庁舎レイアウトにより案内できないのか。 ・今後、システム改修を伴わない手法も検討すべきであると思われる。 ・総合案内の職員が、市民ホールに出て、積極的に市民に声掛けすることで一時的には解決するのでは。 ・ガイドラインに庁舎レイアウト掲載することについては、システム対応が難しいのであれば、市民サービス向上の観点から、別に配布というかたちでもとるべきではないか。
--	--

○判定結果

【結果】研究課題	
【理由】	<p>市民の視点に立ち、サービスの向上が見込まれる提案であるが、現行のガイドラインを用いてそのまま対応するには、関係課意見にあるとおり、システム改修等が必要となる。簡素化した対応方法を模索する等、更なる深掘りを行うことが実施につながるものとする。</p>

受付番号 14 一般提案

【人流コントロールのための効果的な担当係の表示】

○提案内容等

提案要件	<p>■事務能率の向上 □経費節減又は収入増加</p> <p>■市民サービスの向上 □その他公益上有益であるもの</p>
現状及び問題点	<p>特定の係の若手職員が窓口全体を対応しているため、違う係の業務を窓口で聞き取り、内容を担当者に説明するという無駄が常態となっていた。</p>
提案内容	<p>(改善例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係名と主な業務名をコロナパーテーションに色を区別して表示 (天井の表示は視界に入りにくいという盲点を改善) <p>これにより担当係に近い位置に住民が自ら行くように「人の流れをコントロール」した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話も担当係しか鳴らないような仕組みになるとさらに改善されると考える。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民サービス向上 (待ち時間の削減) ・職員の生産性向上 (担当係へつなぐ労力の削減と作業中断の削減による生産性向上) ・労働環境の改善 (若手職員への業務の負担軽減)
実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

○提案に対する意見等

- ・新庁舎建設に伴うサイン工事に影響を与えるものである可能性があり、現時点では難しいと考える。
- ・視線の動きやパーテーションの色の区別などの確に改善がなされている。成果も上がっていると考えられる。気づきを大切にしていきたい。
- ・窓口電話対応にできるだけ無駄がないようにすることは市民、職員双方にとって必要。
- ・しかし、市民が全て理解しているわけではないことを職員は理解すべき。
- ・電話呼び鈴については、提案者の意図は理解できるが総務課意見のとおり整理が必要。
- ・時間外、休日のアナウンスなど対応できないか。
- ・改善報告であるのか、提案であるのかが不明確。提案と思われる電話が担当係のみしかならない仕組みについては、『現状及び問題点』に記載がなく、提案内容として適切か判断しかねる。
- ・人流コントロールとしては、新庁舎内のサインの整備程度しか難しいのではないか。
- ・色を区別して効果があるとは思わないが、誰にでも分かりやすい表示 (サイン) は効果的であると考える。
- ・課、係内での窓口担当のローテーション表なりを作成することで、特定の職員に集中す

ることはなくなるのではないのでしょうか。

・市民サービス向上のため、是非とも市民に分かりやすい部署の位置図表示は必要である。

・電話については、担当係しか鳴らないようにすることは、担当係の電話が全て通話中であれば、話し中となり市民サービスの低下につながり、実施すべきではない。

○判定結果

【結果】研究課題

【理由】

人流コントロールの点については、着眼点を評価できるとともに視線の動きやパーティションの色の区別などの的確に改善がなされており、市民ニーズに応えたサービスを展開できている。

一方で、電話を担当係のみに限定する点については、関係課意見にもあるとおり、機能上は実施可能としつつも、実施したがゆえに市民サービスの低下を招く恐れがあるため、実施は難しい。

受付番号 15 一般提案

【公園遊具寄附事業】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの
現状及び問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に公園や魅力的な遊具が多くある自治体があり、本市は相対的な魅力に欠ける ・遊具の新規設置の予算がつかない（人口減少が理由）
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設置した遊具の寄付（または遊具設置のための寄付金）を受ける
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・目に見えて分かりやすい魅力の向上（市のイメージアップ） ・上記に起因する転入者の増加 ・寄付した側にもメリットがある（税の控除、企業 PR）
実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・特定場所に設置が偏らない工夫が必要。 ・各種公園毎の遊具の在り方の整理を事前に行うことが必要。 ・クラウドファンディングなどより具体的な提案が求められる。公園予算が確保できないことが問題なのか、市民や企業との協働なのか、企業の CSR 活動呼び込むのか、目的が明確なるとその手法も広がりを持つのではないか。 ・企業、団体等からの理解・協力を得る機会となり、今後に繋がりに期待できる取り組みである。 ・既に取り扱っており、今後は更なる制度周知に努める必要あり。 ・『期待される効果』に企業 PR が寄付した側のメリットとするなら、その効果を引き出す提案も必要ではないか。 ・積極的に寄附を受ける方策や戦略を検討する必要があるのではないか。 ・既に担当課で実施済みとのこと。 ・必要な予算措置があったうえで事業を創設するならば効果的であると思う。
--

○判定結果

【結果】担当課にて実施済み
<p>【理由】</p> <p>目的を明確化し、より具体性を帯びた提案を示すことで、更なる広がりを期待する。</p>

受付番号 16 改善報告

【市営住宅収入申告書の対面提出から郵送提出への切り替えについて】

○提案内容等

提案要件	<p>■事務能率の向上 □経費節減又は収入増加</p> <p>■市民サービスの向上 □その他公益上有益であるもの</p>
改善内容	<p>・市営住宅の居住者に対しては、公営住宅法及び市営住宅条例に基づき、収入や世帯状況を把握するため、毎年1回（夏頃）に収入申告書の提出を義務付けています。</p> <p>・従来、申告書の提出については、建設課窓口へ持参提出を求めており、高齢者等の負担になるとともに、職員も随時の受付対応に苦慮している状況でした。（提出対象：約400世帯）</p> <p>・このため令和4年度から、収入申告書の提出を郵送方式に変更しました。（郵送提出に要する返信郵送費を予算化）</p> <p>・この結果、市民の利便性が向上するとともに、職員の窓口対応の負担減、時間的制約を緩和し、業務の効率を図ることができました。</p>

○提案に対する意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務改善につなげていただきたい。 ・利便性向上、業務効率化に成果が期待される取り組みである。 ・事務軽減と市民サービスの向上につながっている。 ・（提案課の意見）導入はコロナ禍がきっかけである。 ・（提案課の意見）従来の窓口対応は不要（書類に不備があれば、後日連絡して対応している）。 ・（提案課の意見）現状でのデメリットはない（市側のペースで業務が可能）。
--

○判定結果

【結果】 通常
<p>【理由】</p> <p>コロナ禍をきっかけにして、業務改善に取り組まれた事例であり、市民サービスの向上に寄与している。</p>

受付番号 17 一般提案

【高額物品購入に関する指名競争入札参加者選定範囲の拡大】

○提案内容等

提案要件	<input type="checkbox"/> 事務能率の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 経費節減又は収入増加 <input type="checkbox"/> 市民サービスの向上 <input type="checkbox"/> その他公益上有益であるもの								
現状及び問題点	<p>現状 高額（例：5,000万円以上）に関する入札において、特異性のある物品種類によっては、指名業者数が少ないと思われる。</p> <p>問題点 電力・資材原料の高騰及び数十年ぶりの円安の社会状況であるため、物品の価格高騰が進んでいる。その高騰に対する執行予算の抑制を考えると、現在の指名業者選定基準では柔軟さが低いと思われる。</p>								
提案内容	<p>水道事業で使用（単価契約）している粉末活性炭について、年間約6,000万円分を購入しております。</p> <p>現在の指名選定基準においては、前年度末に執行した本年度の入札指名業者は、佐賀県内の5社程度での指名（辞退業者もあり応札は4社）であるため、選定範囲の拡大（福岡県内で水道薬品第1位希望の指名追加）を行い価格高騰の抑制を試みることを提案したい。</p> <p>現在の指名競争入札登録数（水道用薬品、佐賀県内、第1位希望） 佐賀県内（前回應札者）4社 指名対象外 福岡県内で水道用薬品を第1希望 6社 参考：同薬品の県内入札指名数の状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>佐賀東部水道企業団</td> <td>10～13社</td> <td>地域</td> <td>佐賀県</td> </tr> <tr> <td>佐賀西部水道企業団</td> <td>29社（12辞退）</td> <td>地域</td> <td>佐賀県・福岡県</td> </tr> </table>	佐賀東部水道企業団	10～13社	地域	佐賀県	佐賀西部水道企業団	29社（12辞退）	地域	佐賀県・福岡県
佐賀東部水道企業団	10～13社	地域	佐賀県						
佐賀西部水道企業団	29社（12辞退）	地域	佐賀県・福岡県						
期待される効果	指名業者の範囲拡大によって、落札価格の低減が想定される。								
実施上の課題	高額物品と提案しているが、その基準対象物品と対象価格の線引き								

○提案に対する意見等

- ・市内業者育成と落札価格の低減の関係の整理が必要。
- ・他市の事例や県外市町の実例などが欲しい。県外業者を選定できない理由があるのか、どこが問題点なのかを明記していただきたい。
- ・時流に沿った提案である。
- ・契約検査課の意見にあるように、現行ルールにおいて柔軟に対応できる部分は、前向きに取り組みたい。
- ・地元業者への配慮も必要ではないか。
- ・指名競争入札参加者選定範囲拡大に対する対象品目の選定が難しいのではないかと（提案書にあるように線引きが困難）。
- ・ローカル発注と落札価格の低減のバランスを考慮する必要があるがよいが。
- ・「金額」と「特異性」の線引きが一定整理できれば、他物品への波及効果も大きいと思われる。
- ・指名業者範囲拡大により、落札価格が低くなる可能性があり、行政コストの節減が期待できる。

○判定結果

【結果】 現行制度内にて対応済み

【理由】

現行制度内にて対応しているため、関係課と協議を深めること。

受付番号 18 一般提案
【ナンバー・リクエストの導入（非通知迷惑電話の排除）】

○提案内容等

提案要件	<p>■事務能率の向上 ■経費節減又は収入増加 ■市民サービスの向上 ■その他公益上有益であるもの</p>
現状及び問題点	<p>現在、非通知電話による度重なる（長時間の対応を要する）迷惑電話がほぼ毎日案内電話にかかってくるしており、また、案内電話から繋がれる担当課（主に福祉部門）に著しい負担がかかっている状況である。</p> <p>私が知る限り、入庁時からの固定客もあり、最低でも23年間はこの問題が放置されてきたわけである。また、過去には、度重なる迷惑電話に対応していた福祉部門の職員が意識混濁となる事態に陥ったという話も聞き及んでいる。</p>
提案内容	<p>現在、本市のビル電話システムはNTTのひかり電話であり、ナンバー・リクエスト（電話番号を通知しないでかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すようにメッセージで応答するサービス）を<u>新たな費用をかけずに</u>、設定を自らすることで導入することができる。</p>
期待される効果	<p>非通知電話による迷惑電話に対応するデッドタイムの減少、職員の精神衛生上の悪影響の減少、これまで対応に要した時間を本来業務、本当のお客様への対応に振り向けることによる人件費の支出抑制。</p>
実施上の課題	<p>佐賀銀行からの連絡が非通知に限定されるなど、非通知電話を排除できない課が一部あるようである。しかし、ナンバー・リクエストは回線ごとに設定できるため、不都合がある部署のみ適用しないという選択は可能である。</p>

○提案に対する意見等

- ・非通知はクレーム以外の相談等もあるので導入は困難と考える。
- ・被通知者を一律に除外することが市役所として適当かの検討が必要。実施の場合は高齢者のためのわかりやすいアナウンスが必要と考える。
- ・ナンバーリクエストなのか、録音音声案内で注意喚起を図るのかなど他の方法も考えられるのではないかと。問題意識としては共感できる。
- ・提案にあるように、同一人物からの長期的、日常的な職員攻撃を一部の部署の問題とせず、全庁的な課題として向き合うべき。
- ・本提案は、総務課意見書のとおり実施困難と思われる。しかしながら、既に関連部署の職員は対応に苦慮しており、別の手法を全庁的に早急に検討すべき。
- ・非通知という理由のみでの排除は、不相当と考える。
- ・非通知電話以外の電話においても迷惑電話となるものがあるのではないかと。
- ・非通知電話を全て排除することは技術的には可能であっても、役所の場合は難しいのではないかと。
- ・行政としては総務課の意見のとおり。
- ・市民の方は様々な事情で市に相談等をされるケースがあり、ナンバーリクエストの導入については、市民サービスの低下につながるとともにトラブルになりかねない。

○判定結果

【結果】 研究課題

【理由】

関連部署だけでなく全庁的に対応すべき問題として捉え、『職員自身を守る』という意味を含めた労務削減に大きく寄与する提案である。しかしながら、行政の立場上、本提案をそのまま実施することは困難なため、録音案内導入による攻撃相手へのけん制等、代替手段の道を早急に探る必要がある。

受付番号 19 一般提案
【チューター制度の導入について】
 ※提案者によるプレゼン実施

○提案内容等

提案要件	■事務能率の向上 □経費節減又は収入増加 ■市民サービスの向上 ■その他公益上有益であるもの
現状及び問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員一人では課題に対して、効率的な解決策を見出せない。 ・背景に新規職員への指導やサポートする仕組みがない。 ・若手職員から職場の不満や問題に対して行動する職員が少ない。
提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員に対して、3年目～主査の職員をチューターに任命。 ・年間の育成指導計画を立て、新規職員の仕事を中心にサポート。新規職員には課題発見力・解決力や行動力に育成していきたい。 ・上司が新規職員とチューターを評価する。(中期、下期) ・職員同士で育成指導を行うことで、継続的な能力開発を図っていく。 <p style="margin-left: 20px;">↑上記を制度として仕組化する。(事例経験あり：前職(東京都))</p>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員が働きやすい職場が整備される。 ・チューターも能力開発のきっかけになる。(人材育成力・傾聴力) ・不満や問題に対して、意見を持ち、議論する職員が増える。 ・鳥栖市として育成制度をHP等でPRでき、イメージUP。
実施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖市としての育成計画や育成像が必要。(ソフト面) ・実施にあたり、チューター研修等が必要。(コスト面)

○提案に対する意見等

- ・チューター制度に関わらず、新規職員のフォローアップができる相談しやすい体制づくりが必要である。
- ・職員の抱える課題をとらえていると思う。人員配置等から実施できる課とできない課が出てくる。他の自治体の事例をもとに提案されていることもあり調査研究すべきと考える。
- ・審査会でも述べたように、新採職員が問題意識をもって初プレゼンしており、今回の大幅な制度見直し後の提案でもあることから、今後の職員の本制度に対するモチベーションにつなげるためにも、何かしら具現化が必要
- ・入庁後感じた課題に対し、前職の体験を基にした提案で、またプレゼンを実施するなど切実な課題と認識。
- ・提案内容について検討・対応の必要性は高いと感じる。現在の新採職員への指導対応の方針と本提案との整合や効果の検証を行い、現状の改善に向けて検討を進めるべきである。
- ・チューター役の職員の負担や人員不足及び仕組み作りが課題であると考え、新規職員及び人材育成に効果的な制度のひとつである。そもそも先輩が後輩の面倒を見るのは、当たり前のことではあるがルール化しないと出来ないものになっているという事でしょうか。
- ・若手職員の能力向上に繋がる制度であると思うが、業務内容（事務職、技術職）や職場環境（係人数、年齢層）の違いがあるため、チューター役の負担軽減にも考慮すべき。
- ・業務に真摯に取り組んでいることからの問題意識による提案であると思い、評価できる。実施するための問題点の洗い出しや実施方法等を検討する時の体制づくりを総務課等と共同して取組をしてほしい。
- ・新規職員に対するサポートは必要と常々感じている。
- ・（チューター制度を実施するにあたっては）人員問題の検討。チューターに負担ならないよう等の仕組み作りが必要。

○判定結果

【結果】実施検討

【理由】

入庁 1 年目に感じた本市の課題に対し、前職での事例を踏まえた提案であり、職員提案規程改正後初のプレゼンへ挑戦した提案者本人の意欲も評価できる点である。

職員の勤労意欲向上や意識改革につながる提案でありつつも、実施においてはチューター役となる職員の負担や人員不足、仕組み作り等の様々な課題があることから、同規模程度の他自治体事例研究等、更なる深掘りを期待する。